

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
会長講演	たゆまぬ努力と未来への躍進		熊谷 英子		○
副会長企画	レジェンドからのメッセージ		品田 ひとみ	私が伝えたいWOC領域の真髄と期待	○
			徳永 恵子	夢を実現する勇気を	○
特別講演1	近未来のWOC看護に望まれること		真田 弘美		○
特別講演2	東日本大震災時における災害対応とその後の地域医療調整		石井 正		○
特別講演3	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックから明らかになった医療の課題		押谷 仁		○
特別講演4	Paradigm Shift～未来の創造、故郷の酒～		佐々木 洋		○
教育講演1	排便機能障害と疾患		西澤 祐史		○
教育講演2	「創傷衛生（Wound Hygiene）」について		館 正弘		○
教育講演3	直腸癌術後LARSの病態と対応		幸田 圭史		○
教育講演4	褥瘡ケアのパラダイムシフトからの看護教育システム研究の変遷		真嶋 由貴恵		○
教育講演5	在宅褥瘡から護る～床ずれ予防プログラムというもの～		岡田 克之		○
大会長特別企画	WOCナースとして自己のキャリア開発はこれでよかったのか？ うまくいったことうまくいかなかったこと		田中 秀子	32Fes.これまでとこれから～人生の転機をどう乗り越えていけるか？～	○
			鎌田 直子	子どもと家族にエールをおくるWOCナース活動	○
			大塚 眞由美	地域でのWOCナース活動を通して	○
			柳井 幸恵	「仲間を増やす」WOCナース活動	○
特別企画1 (ランチョンセミナー1)	あなたはケロイドと肥厚性瘢痕の違いを語れますか？		小川 令	手術やけがの傷あとをきれいにするための理論と実践 ～看護の際に知っておくべき大切なこと～	○
			光田 益士	「使用の継続性」に着目したテープ材の新評価技術開発	○
特別企画2	症例で考えるWOC分野の在宅医療・ケア		荒谷 亜希子	地域で経験した創傷ケアの症例	○
			袋 秀平	IADとしてのいの？それとも褥瘡？	○
			岡部 美保		○
			袋 秀平		○
シンポジウム1	たゆまぬ努力から生まれる未来に続くWOCケア ～在宅や地域でのWOCケア拡充を目指して～	S1-1	山口 みどり	訪問看護師の立場からみる在宅でのWOCケアの現状とこれからの教育の視点	○
		S1-2	廣川 友紀	販売店皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCN)からみるストーマ保有者支援の問題点と今後の課題	○
		S1-3	高橋 麻由美	中病院、老健施設を経験したWOCNの、自施設及び地域への働きかけと今後の課題	○
		S1-4	内藤 亜由美	地域連携に貢献している看護師の立場から	○
シンポジウム2	看護介入による多職種でおこなうシーティングの新しい取り組み	S2-1	飯坂 真司	座圧分布チェックリストを用いたアセスメント	○
		S2-2	江戸 一臣	在宅におけるシーティング 車椅子へ移乗して広がる世界を 届けるために	○
		S2-3	藤井 香織	大学病院におけるシーティングの現状—WOCNの立場から—	○
シンポジウム3	ストーマ保有者の在宅療養生活を支援する体制を考える ～ストーマ外来と訪問看護の現場における現状と課題～	S3-1	渡邊 光子	急性期病院のストーマ外来と地域との連携における現状と課題	○
		S3-2	清水 けい子	ストーマ保有者が在宅療養をする上での訪問看護師の課題	○
		S3-3	瀧元 佳江	訪問看護師が行う継続ケア～ストーマセルフケア指導の継続は、 訪問看護師にお任せください	○
		S3-4	大内 淑子	ストーマ保有者を地域で支援するために必要なこと	○
		S3-5	土田 敏恵	WOC領域における看護専門外来と在宅医療との連携	○
ワークショップ	WOCナースのキャリアデベロップメント		貝谷 敏子	キャリアの考え	○
			柳迫 昌美	キャリアデベロップメント	○
理事会企画1	エクセレントな排便管理の実装に向けて		紺家 千津子	排便管理アドホック委員会設立の趣旨	○
			玉井 奈緒	リーダー育成	○
			津田 裕子	チーム医療に関するエビデンス構築	×
			小柳 礼恵	認知症患者における排便サポートチームの介入効果の検証	×
			小柳 礼恵	エクセレントな排便管理技術の普及	○
理事会企画2	排尿障害の治療とケア		加藤 久美子	「高齢女性の骨盤底機能障害の治療とケア」意外に多い 骨盤臓器脱：診断と治療選択	○
			金城 真実	女性尿失禁の診断と治療	○
			野崎 祥子	骨盤底排泄障害のケア	○

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
理事会企画3	日本創傷・オストミー・失禁管理学会助成採択演題		新川 みなみ	経時的生体センサデータに基づく褥瘡発生予測法のための皮膚温度推定法の開発—同一姿勢の健康成人における検証—	○
			林 美代子	ストーマ器具凸面型面板の凸部の形状分析と分類	○
			牟田 みや子	自己操作による超音波検査を用いた骨盤底筋訓練のバイオフィードバック用eラーニングと骨盤底筋収縮自動判定アルゴリズムの開発	○
			光田 益士	脳卒中患者のアドバンススキンケアモデル構築を目指した陰部洗浄・清拭法の開発：単施設ランダム化非盲検クロスオーバー試験	×
理事会企画4	令和6年度診療報酬改定に向けた本学会からの提案		松本 勝	排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料の算定要件拡大と名称変更の提案：包括的排便ケアによる排泄自立支援	○
			北村 言	「在宅患者訪問看護・指導料3」の算定要件拡大の提案：ICTによる遠隔での同行訪問	○
			稲田 浩美	小規模病院と皮膚・排泄ケア認定看護師の連携がもたらす効果	×
理事会企画5	研究倫理に強くなろう！ 倫理指針・ガイドンスの改正ポイントをやさしく解説します		貝谷 敏子	「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の変更点とポイント	○
			加瀬 昌子	学会倫理審査申請の改正ポイントと倫理申請書作成について	○
			酒井 透江	論文の倫理要点	○
理事会企画6	認定看護師として進化を続けるための戦略～第2弾～		吉田 李生	皮膚・排泄ケア特定認定看護師としての活動推進の壁、乗り越えるための秘訣	○
			菊池 絵里	ここまでできる！足病ケア～特定行為で広がる実践活動～	○
			鈴木 由加	WOCの未来を拓け 特定・認定看護師の挑戦	○
			酒井 宏子	活動調査報告	○
理事会企画7	未来を紡ぐために私たちにできること ～WOC領域の災害支援のあり方～		羽山 こずえ	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会における災害対策の歩みとこれからの災害支援体制	○
			石井 義輝	学会としての災害支援～褥瘡学会の場合～	○
			柳迫 昌美	日本創傷・オストミー・失禁管理学会の災害対応への取り組み	○
英語セッション1： Mastered Speakers	英語発表経験者はこんな風に発表しています	E-01	Muhammad Aminuddin	Education of healthcare professionals for the prevention and treatment of diabetic foot ulcers: A scoping review	○
		E-02	Sukarni Sukarni	Relationship between topical treatment and pH in the healing process of diabetic foot ulcers: A scoping review	○
		E-03	畑 菜都希	Influence of epidermal microclimate and support surface on skin maceration factors	×
		E-04	鈴木 秀幸	Pros and cons of mucous fistula: a case report	○
		E-05	松永 希	Attempts to change urinary catheter devices and procedures with a focus on environmental contamination	○
		E-06	三浦 由佳	Image quality and image acquisition time for bladder and rectal ultrasound performed by home-visit nurses	○
英語セッション2： Beginner-friendly speakers	Let's Try！英語で発表してみよう、私はこんな風に英語発表しています！	E-07	渡辺 知弘	Attending Report 2023 APETNA Conference in Australia	○
		E-08	直海 倫子	WOCN collaboration in cases of peristomal skin damage	○
		E-09	坂田 舞	Supporting adolescents and young adults with cancer and stoma by balancing work and treatment to end-of-life care: A case report.	○
		E-10	片岡 ひとみ	Difficulties experienced in daily life by nursing students through a simulated experience of applying of ostomy appliances	○
		E-11	宮崎 啓子	An International latest Topic：What is “COVID-19 Skin Manifestations”	○
主題演題1	たゆまぬ努力から生み出された未来に続くケア	MO1-1	間宮 直子	急性期医療と地域包括ケアの両立に向けて～WOCNの地域ケア参画に向けての戦略～	○
		MO1-2	佐竹 ひとみ	人工肛門造設患者に対する術前ケアの充実-第一報- ～患者・家族が納得しわかりやすい医療の提供を目指して～	○
		MO1-3	伊藤 由美	人工肛門造設患者に対する術前ケアの充実 -第二報- 2症例からみえたWOCNによる術前ストーマ外来の役割	○
		MO1-4	大橋 史弥	サーモグラフィ画像を用いた褥瘡再発予測方法の開発：偽陽性・偽陰性の要因の検討	○
		MO1-5	滝沢 知大	ファイバーパッドを用いた創洗浄による褥瘡のバイオフィルム除去効果の検証	○
		MO1-6	渡邊 千登世	ガイドラインに基づく褥瘡ケアの実践を目指した情報テクノロジーの活用 ～チームコンパスによる褥瘡管理～	○
主題演題2	在宅に広がるWOCケア	MO2-1	荒谷 亜希子	I病院におけるWOCN、特定看護師の活動成果	○
		MO2-2	平良 亮介	在宅でのWOCケア＜創傷管理編＞	○
		MO2-3	坂田 さち子	がん終末期ストーマ保有者の拡大するストーマ周囲皮膚潰瘍の在宅での管理に難渋した1例	○
		MO2-4	黒木 ひとみ	高齢者施設へのラウンドから見えた効果と課題	○
		MO2-5	廣川 友紀	ストーマ保有者に関わるNsへの継続したWOCN支援の重要性 第1報 -WOCN不在病院のNsへの介入の振り返りから-	○
		MO2-6	廣川 友紀	ストーマ保有者に関わるNsへの継続したWOCN支援の重要性 第2報 -訪問Nsへの介入の振り返りから-	○

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
主題演題3	災害関連	MO3-1	高橋 賢一	災害時のストーマ管理の問題と対策ー東日本大震災の教訓から	○
		MO3-2	小室 幸子	宮城県ストーマケア災害対策委員会の活動と今後の課題	○
		MO3-3	庄司 沙織	2019年 台風災害時の実践報告と評価、今後の課題	○
		MO3-4	小野寺 充弘	宮城県におけるストーマ保有者のための災害対策の活動の実際と今後の課題ー販売店の立場からー	○
		MO3-5	佐々木 宏之	災害時の病院機能維持とストーマ保有者支援体制の課題	○
一般演題（口演）1	創傷ケア1 褥瘡予防	O1-1	田伏 優花	経験の浅い褥瘡対策チームメンバーが自部署で行うチームビルディング	○
		O1-2	津矢田 浩代	急性呼吸窮迫症候群患者に対する腹臥位時褥瘡予防プロトコル実施効果の検討：過去起点コホート研究	○
		O1-3	清岡 愛	4時間毎体位変換への取り組み～スキントラブル発生状況とスタッフへの影響～	○
		O1-4	佐々木 早苗	極度なうい瘦や不随運動がある患者にプーメラン型クッションを使用し、重度褥瘡の治癒に効果的であった症例	○
		O1-5	黒田 豊子	踵部の褥瘡予防対策について	○
一般演題（口演）2	創傷ケア2 褥瘡ケア	O2-1	玄山 愛子	仙骨部重度褥瘡が回復した1例 ～特定行為実践と包括的介入～	○
		O2-2	渡辺 光子	ロボット支援下手術における周術期褥瘡およびスキントラブルの発生状況	○
		O2-3	矢倉 里香	下肢痙攣を伴う踵部褥瘡への多職種連携アプローチ	○
		O2-4	河崎 明子	るい瘦患者へのウレタンフォームクッション使用が効果的な除圧となり、尾骨部褥瘡が治癒した一症例	○
		O2-5	堤 薫	創縁が過角化した難治性褥瘡に対し角化抑制する目的で、活性型ビタミンD3外用薬を併用し治癒・改善をみた2例	○
		O2-6	本居 春江	サリチル酸を用いたケアにより難治性褥瘡が改善した一例ー病院と特別養護老人ホームとの連携からー	○
一般演題（口演）3	創傷ケア3 IAD/スキン-テア	O3-1	白崎 安矢実	高齢者における臀部皮膚AGEs量と皮膚粘弾性および形態的变化と皮膚障害との関連検討	○
		O3-2	岸本 諭美	IADを機序とした褥瘡発生の低減に向けた独自のアセスメントシート活用の成果	○
		O3-3	長谷川 毅	スキン-テアリスクを有する高齢者の皮膚におけるスキンテア発症へのAGEsの影響の検討	○
		O3-4	大杉 純子	高度急性期A病院におけるスキン-テアの実態と課題	○
		O3-5	高橋 カオリ	障害高齢者におけるスキン-テア発生の個体要因に関する症例検討	○
		O3-6	林 洋子	当院におけるスキン-テアのインシデント・アクシデント報告書よりみえた今後の取り組み	○
一般演題（口演）4	創傷ケア4 SSI/基礎研究	O4-1	長谷川 ゆかり	壊死性軟部組織感染症治療中にヨード中毒になった一症例	○
		O4-2	寺島 一豪	当院における外科開腹創への陰圧閉鎖療法を使用したSSI対策の工夫	○
		O4-3	砂田 純子	入院時から市中感染型MRSAを想定した治療を行い奏功したHIV感染者における蜂窩織炎の一例	○
		O4-4	石川 環	腸管内治療別にみた腸内環境の変化と創傷治癒に関する基礎研究	×
		O4-5	真壁 風子	加熱死菌Lactobacillus plantarumが皮膚創傷治癒過程に与える影響	○
		O4-6	小番 冠奈	加熱死菌Lactobacillus plantarumの創傷治癒促進機構におけるCARD9シグナルの関与	○
一般演題（口演）5	スキンケア	O5-1	高木 良重	スキンケアにおける「皮膚の保護」に関する文献検討	○
		O5-2	光田 益士	皮膚pH上昇に与えるウレアーゼ産生菌検出のための培地開発	×
		O5-3	山中 なみ子	外来のがん薬物療法を受ける患者の保湿ケアの現状と課題	○
		O5-4	松本 鮎美	がん薬物療法の有害事象の有無と保湿ケアの関連性	×
		O5-5	黒木 さつき	高齢者に対するスキン-テア予防のためのセルフケア教育の効果	○
		O5-6	小林 郁美	表皮水疱症患者に対する周術期ケアの経験	○
一般演題（口演）6	ストーマケア1 高齢者/セルフケア	O6-1	内藤 真奈美	高齢独居で視覚障害を伴うストーマ造設者に対する退院支援～セルフケア指導と安定したストーマ管理～	○
		O6-2	小田切 宏恵	介護施設入所中の高齢ストーマ保有者のストーマケアの課題ー介護職対象のインタビュー調査の結果からー	○
		O6-3	富塚 佐智子	聴覚障害のある患者に対して手話通訳者を介して行ったストーマケアの一例	○
		O6-4	渡邊 涼子	ストーマセルフケアが困難と予測された結腸ストーマ造設患者の自宅退院への支援	○
		O6-5	吉岡 秀多加	COVID-19の影響により管理困難なストーマケア指導が進んでいなかった患者支援～自宅退院できた1事例～	○
		O6-6	佐竹 ひとみ	ストーマ周囲に胃がんの腹壁浸潤を認めたが、装具の見直しにより就労継続できた一例	○

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
一般演題（口演）7	ストーマケア2 管理困難	07-1	白石 卓也	緊急ストーマ造設後に発症したストーマ周囲皮膚障害と管理困難の要因	○
		07-2	大音 博美	ストーマ周囲に発生した壊疽性膿皮症患者の経験	×
		07-3	佐藤 雅恵	骨髄異形成症候群を有する患者のストーマ周囲にPGを発症した一症例	○
		07-4	長内 清朗	ストーマ陥没のためにストーマ管理に難渋した一症例の考察	○
		07-5	齋藤 優紀子	一時的回腸双孔式ストーマ周囲に難治性潰瘍が発生した一例	○
一般演題（口演）8	ストーマケア3 その他	08-1	阿部 ふみ	オストメイトのセルフケア確立に影響を与える要因ーストーマ外来初回利用時の状況分析ー	○
		08-2	千田 由美子	併科処方のニンテダニブ内服中に発生したストーマ周囲皮膚障害の1症例	○
		08-3	小林 実	繰り返す原因不明の消化管出血に対してストーマ粘膜下静脈の結紮により治療した一例	○
		08-4	若林 あずさ	凸面の圧迫により繰り返すストーマ周囲皮膚潰瘍を生じた一例	○
		08-5	松原 康美	3D形状測定によるストーマ器具凸面型面板の凸部形状の分析	×
		08-6	浜野 克弥	凸面型面板12製品の凸型嵌め込み具のCT画像による形状分析	○
一般演題（口演）9	排泄ケア1 排尿自立	09-1	大東 摩保	排尿ケアチーム活動の現状と課題	○
		09-2	假屋 真帆	A病院における排尿ケアチームの現状と課題	○
		09-3	佐藤 南	排尿自立支援加算の取り組みと今後の課題	○
		09-4	武田 紗代子	人工骨頭置換術後に発症した尿路感染症に対する予防への取り組み～排尿自立支援介入を通して～	○
		09-5	竹内 雅史	新たな骨盤底筋体操プログラムおよび運用アルゴリズムの試作 -患者背景に合わせた効果的な指導に向けて-	○
		09-6	政田 美喜	自宅退院が難しいと思われていた排尿障害患者の退院支援の取り組み	○
一般演題（口演）10	排泄ケア2 排尿障害	010-1	井上 瞳	経尿道的膀胱腫瘍切除術後の下部尿路機能障害の程度と排尿状態の経時的な変化	○
		010-2	丹波 光子	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後の排尿管理	○
		010-3	小笠原 雅巳	蓄尿障害を有している患者に対して、排尿日誌を活用しQOLの変化に繋がった症例の報告	○
		010-4	古川 きよみ	糖尿病性神経因性膀胱患者の排尿管理を振り返る	○
		010-5	喜多村 定子	就労女性の尿失禁の特徴と職場環境	○
		010-6	正源寺 美穂	家族介護者の排泄介助に関する身体・精神・経済的負担感と各負担感を構成する症状と介助内容	×
一般演題（口演）11	排泄ケア3 排便障害	011-1	佐野 友香	高度急性期病院における入院患者の便秘有病率調査	○
		011-3	念垣 真衣	慢性便秘症患者の排便日誌を用いた排便コントロール法の取り組み	○
		011-4	鎌田 さおり	便失禁患者に対する骨盤底筋訓練指導の多職種での協働	○
		011-5	西本 由美	嚥下調整食を摂取している患者の便の粘性のラインスプレッドテスト法による測定実施可能性	×
		011-6	高野 太樹	食物繊維高配合流動食の使用経験に基づく医療従事者を対象とした市販後アンケート調査	○
		012-1	清宮 美詠	褥瘡管理者の横断的活動を振り返り見えてきた課題～相談方法をシステム化して～	○
一般演題（口演）12	教育・指導	012-2	武山 正太	非侵襲的陽圧換気療法における医療機器関連圧迫創傷の予防意識の向上を目指した勉強会の効果	○
		012-3	宮永 葵子	皮膚脆弱モデル教材を使用したスキン?ケア予防の授業効果	○
		012-4	成田 知佳	A病院外科病棟でのストーマケア統一を目指して	○
		012-5	稲田 ゆかり	ストーマ造設後の円滑な退院支援を目指して	○
		012-6	佐々木 伸子	アンケート調査から見えてきたおむつマイスター受講修了者の課題	○
		一般演題（口演）13	地域包括ケア/在宅医療・看護	013-1	藤平 舞
013-2	大内 淑子			特定行為研修を修了した皮膚・排泄ケア認定看護師が介入し、深い褥瘡がある高齢者を自宅で看取った一例	○
013-3	播磨 孝司			家族の負担軽減のため、夜間の体位変換を行わずに在宅へもどり褥瘡予防できた要介護5の一事例	○
013-4	小田 恵美子			管理困難ストーマの在宅管理 ～訪問WOCNとの連携～	○
013-5	印幡 香			紫雲膏・亜鉛華デンプン療法により在宅療養に移行できた皮膚浸潤を伴う甲状腺がんの一例	○
013-6	別所 大介			在宅高齢者に対する介護予防訪問にベルト電極式骨格筋電気刺激法を使用した効果の検討	○

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
一般演題（口演）14	創傷ケア5 がん関連創傷	014-1	浅野 歩美	外来化学療法による皮膚障害に伴い難治性踵創傷を発生した一例	○
		014-2	梶田 志帆	乳がん自壊創に放射線性皮膚炎が合併した患者のセルフケア支援	○
		014-3	水島 史乃	乳がん皮膚浸潤による自壊創のセルフケアを支援した一例	○
		014-4	江頭 奈美	終末期患者の疼痛に配慮した乳癌自壊創ケアについて	○
		014-5	高橋 純	気管切開部周辺の自壊創に対してモースペースト処置が奏功した1例	×
		014-6	藤原 恵美子	高齢者乳癌術後の創部離開に対する局所陰圧閉鎖療法による創傷管理	○
一般演題（口演）15	連携1	015-1	足立 さゆり	入退院支援加算算定後に関わった重度褥瘡患者への介入	○
		015-2	金村 恵	短期間の再入院で著しく悪化した褥瘡2事例の考察と課題	○
		015-3	阿部 稜子	強皮症のPAH患者に対するプロスタグランジン I 2誘導体製剤持続皮下投与療法の在宅管理移行への支援	○
		015-4	竹之内 美樹	フットケア外来における多職種連携と皮膚・排泄ケア認定看護師の役割	○
		015-5	齋藤 敦己	尿路ストーマオリエンテーションのシステム作り-外来・病棟看護師のシームレスなケアを目指して-	○
		015-6	高木 美那	ストーマ周囲に生じた壊疽性膿皮症による難治性潰瘍が早期介入・上皮化に至った2症例についての報告	○
一般演題（口演）16	連携2	016-1	吉岡 千種	近隣施設WOCNの連携効果 ～認定看護師の役割を学び、地域のケアにつなげる～	○
		016-2	浜村 優子	訪問看護師と連携し在宅生活が可能となった仙骨部難治性褥瘡患者の1症例	×
		016-3	小野寺 喜代	臀部壊死性筋膜炎を発生した患者への早期創傷管理介入で在宅療養に繋げた1症例	○
		016-4	猿田 真紀子	地域連携により治癒に至った複数個所の足潰瘍症例	○
		016-5	山家 正美	遠隔コンサルテーションアプリを用いたフットケア相談の効果 -「Join足ケアナビ用」を試用して-	○
		016-6	杉本 はるみ	トリプルストーマ、腹部に瘻孔形成した終末期患者の転院に向けて地域と連携した1事例	○
一般演題（口演）17	創傷ケア6 フットケア	017-1	飯坂 真司	在宅下肢創傷医療の実態調査：第1報 皮膚・排泄ケア認定看護師の困難経験	×
		017-2	畠山 誠	在宅下肢創傷医療の実態調査：第2報 皮膚・排泄ケア認定看護師の理解度	○
		017-3	伊藤 麻紀	創傷管理に変化がない保存的治療という時期を支える支援：膠原病の下肢壊疽の患者から学ぶこと	○
		017-4	丸谷 晃子	虚血性皮膚潰瘍に関する創傷関連痛を軽減する要因	×
		017-6	佐久間 ともみ	爪下血腫後の爪甲剥離に関連した変形爪予防に対する人工爪形成の有効性について	○
		一般演題（口演）18	COVID-19関連	018-1	伊勢谷 祐樹
018-2	小久保 恵理			COVID-19禍での褥瘡有病率上昇における褥瘡リンクナースへの指導方法変換の取り組み	×
018-3	佐藤 美絵			COVID-19専用病棟における間接的介入での創傷対応	○
018-4	工藤 礼子			COVID-19感染症病棟に2度転棟しストーマ造設を決断するに至った一例	×
018-5	浅尾 希望			COVID-19に感染した患者のストーマ管理と患者・家族のQOLについて振り返る	○
018-6	芦田 幸代			新型コロナウイルス感染症の拡大時の遠隔看護連携による褥瘡や創傷ケア相談の取り組み	×
一般演題（口演）19	重症心身障害児者/小児/障害	019-1	郷内 一恵	重症心身障害児・者でMDRPUを発症した2症例への取り組み -発生要因のリスクアセスメントと多職種連携の重要性-	○
		019-2	石田 美樹子	当院における重症心身障害児・者の耳部褥瘡の現状 ～耳介の除圧と形状保持を目的とした穴開き枕の活用～	○
		019-3	齋藤 弘美	小児集中治療室における医療関連機器圧迫創傷の発生状況	○
		019-4	村山 佳菜	ヘリスティーン®プラスアナライゼーションシステム導入後の洗腸管理の変化	○
一般演題（口演）20	特定行為研修修了者活動	020-1	細谷 裕子	皮膚・排泄ケア認定看護師・特定看護師（創傷管理関連）による創傷の遠隔支援体制の構築	○
		020-2	木村 英子	A地域中核病院における皮膚・排泄ケア認定看護師の活動と今後の課題	○
		020-3	鈴木 華代	褥瘡チームにおける特定行為終了後の皮膚・排泄ケア認定看護師の役割の深化	○
		020-4	中川 明子	創傷分野における特定行為研修終了後の実践結果と課題	×
		020-5	大森 鮎子	自宅退院を目標とした高齢患者の手術部位感染創に対する陰圧閉鎖療法の一例	○

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
一般演題（口演）21	認定看護師活動	O21-2	内湯 瑠菜	皮膚・排泄ケア認定看護師によるオンライン褥瘡回診によりケア支援を受けた看護師の思い	×
		O21-3	西口 裕子	皮膚・排泄ケア認定看護師のデータ分析が救急外来経由で入院した患者の褥瘡発生低減に繋がった活動	○
		O21-4	舟山 聡美	褥瘡管理者による創傷・オストミー・失禁ケアの業務整理	○
		O21-5	飛澤 貴子	がん患者のスキンケア実践状況と今後の課題 ー皮膚・排泄ケア認定看護師/がん看護専門看護師の活動報告ー	○
		O21-6	笹原 綾	整形外科医師と皮膚・排泄ケア特定認定看護師の協働における創傷管理の成果と課題	○
一般演題（示説）1	褥瘡予防・管理	P1-1	紺野 淳子	連携して取り組んだ褥瘡ケア -在宅から施設、そして治癒に至るまでを振り返る-	○
		P1-2	大阿久 美幸	高度肥満患者に対して腹臥位手術の褥瘡予防ケア	○
		P1-3	細井 彩	終末期がん患者の褥瘡予防 疼痛コントロールに難渋した1事例より	×
		P1-4	柳井 幸恵	DESIGN-R®2020における褥瘡経過評価スケールの意義ー改定に伴う効果の検討ー	×
		P1-5	山本 幸恵	予測を超えて深部・広範囲化した仙骨部DTI褥瘡の3症例	×
		P1-6	山崎 美希	こだわりが強く拒否が多い主介護者の褥瘡管理指導に難渋した症例	×
		P1-7	板乗 亜矢	ギプス固定により、医療関連機器圧迫創傷が発生した症例から見た課題	×
		P1-8	高橋 喜美	脊髄損傷患者の褥瘡治療に向けて入院治療と訪問診療が連携し奏功した一例	○
一般演題（示説）2	スキンケア/創傷管理	P2-1	丸橋 理絵	手荒れの認識とハンドケアの現状 ~WOCN介入による行動の変化~	○
		P2-2	谷澤 伸次	陰部洗浄時に陰部清拭用ワイプシートを使用した業務改善	○
		P2-3	岸本 諭美	乳がん術後放射線治療を受ける患者への放射線皮膚炎予防に向けた皮膚・排泄ケア認定看護師の介入	○
		P2-4	久永 みゆき	多量排泄のある浮腫患者の自壊創管理にパウチングが奏功した1症例	○
		P2-5	鈴木 英暢	がん薬物療法中の患者の皮膚脆弱性と角層水分量の関連性	×
		P2-6	浦野 朝子	皮膚粗鬆症で深在性解離性血腫を繰り返す症例を振り返る	×
		P2-7	遠藤 瑞穂	複数の社会福祉制度を利用する一事例に被覆材を用いた創傷予防策の評価	○
一般演題（示説）3	排泄管理1	P3-1	松本 勝	初学者を対象とした非対面での膀胱エコー教育による技術習得度に対する効果検証	×
		P3-2	松本 勝	膀胱エコー教育に対する初学者の主観的評価：対面教育と非対面教育の比較	×
		P3-3	高橋 佳織	排泄ケアチームの組織横断的な活動の推進~連携看護師と目的を共有すること~	○
		P3-4	榎垣 麻由	婦人科術後の残尿測定の実状調査と改善への取り組み	×
		P3-6	永井 咲	オムツの導入に向けた取り組みと今後の課題	○
一般演題（示説）4	排泄管理2	P4-1	津田 裕子	排便に関する不快感やニードを医療者が十分に把握できない入院患者における排便管理の実態	○
		P4-2	尾下 美保子	脊髄損傷による排便障害事例に対する腹部超音波検査を活用した排泄ケアチームの活動	×
		P4-3	保坂 明美	訪問看護師がエコーによる膀胱・直腸のアセスメントを行うことで尿閉・便秘に早期に介入できた一例	○
		P4-4	新関 こずえ	羞恥心から家族での排便ケアを希望した療養者に訪問看護師がエコーによる観察で洗腸実施日を提案した一症例	×
		P4-5	齋藤 美咲	在宅で排便管理・IAD管理目的で肛門パウチングが有効だった一例	○
一般演題（示説）5	ストーマケア1	P5-1	後藤 千夏	緊急ストーマ造設患者の意思を尊重したケア指導からみえたもの	×
		P5-2	岩崎 優	オストミービジターの術前訪問を実施しての報告	○
		P5-3	小笠原 春美	聴覚障害のある患者のストーマケア習得に向けた関わり	×
		P5-4	河村 淳一郎	ストーマ装具外しを繰り返す高次脳機能障害のある患者に難渋した症例	○
		P5-5	高橋 咲子	Pathergyが誘発されたストーマ周囲壊疽性膿皮症の一例	○
		P5-6	菊地 ひろみ	ストーマ近接部に生じた癌浸潤潰瘍に対するストーマ管理の一経験	×
		P5-7	菅野 恵子	腹壁・ストーマの形状変化により皮膚障害が生じ管理困難となった1例	○
一般演題（示説）6	ストーマケア2	P6-1	風巻 裕子	ストーマ造設後、腹壁癒着ヘルニアを合併し、オーダーベルト作成・装着によりQOLの改善が得られた1例	○
		P6-2	松本 貴司	ストーマ狭窄に対して食道拡張バルーンを使用し維持管理できた一症例	○
		P6-3	村田 博子	複数の難治性瘻孔に対する管理の一例	○
		P6-4	星 恭子	全胃温存脾頭十二指腸切除術後、難治性小腸皮膚瘻となった局所管理の一例	×
		P6-5	伏見 倫子	食道癌二期再建後の食道瘻管理への介入	○
		P6-6	菅原 瑞希	新規入浴用シールの目隠し機能、皮膚バリア性の評価	×
		P6-7	加藤 大智	新規ストーマ用器具固定テープの伸張性・皮膚バリア性の評価	×

セッション名	セッションテーマ	演題番号	氏名	演題名	オンデマンド配信
一般演題（示説）7	認定看護師/特定看護師	P7-1	色川 奈々	多職種での褥瘡回診開始までの取り組み	○
		P7-2	大向 由克子	A病院入退院支援センターにおけるWOCN在籍によるオリエンテーション効果	○
		P7-3	西村 恭子	WOCNと訪問看護師の同行訪問の継続によりポケットを伴う褥瘡が治癒した1症例	○
		P7-4	矢野 綾那	同行訪問後の報告に医療介護SNSを活用した効果と課題	○
		P7-5	室岡 陽子	皮膚・排泄ケア認定看護師の同行訪問・遠隔コンサルテーションによる訪問看護師の意識調査	○
		P7-6	多氣 真弓	デブリドマンの回数を増やしたことで重症化を予防できた放射線潰瘍の1例	○
		P7-7	菊池 勝子	特定認定看護師の活動についてアンケート調査から分かったこと	×
一般演題（示説）8	教育/基礎研究	P8-1	遠藤 彩香	創傷ケアに関する知識・看護の質向上に向けた取り組み	×
		P8-2	中山 句仁子	DESIGN-R?評価に対する看護師の苦手意識とDESIGN-R?評価結果の関係性に関する調査	○
		P8-3	松田 常美	本邦における看護師のエコー使用状況と今後の課題	×
		P8-4	平岡 未帆	COVID-19パンデミック下の非臨床実習にWOCNが参画することによる可能性と影響：SCAT分析による質的研究	○
		P8-5	横野 知江	本邦の重症急性呼吸窮迫症候群に対する腹臥位療法時の褥瘡予防・管理に関する文献検討	○
		P8-6	佐藤 文	WOCNと看護師の連携によるストーマ保有者への柔軟な支援のための検討	○
ランチョンセミナー2	院内・多職種・地域 オストメイトを支えるため連携～仙南医療圏における3人のWOCNの躍進～		横澤 真姫子		○
			庄司 沙織		○
			佐藤 静恵		○
ランチョンセミナー3	ストーマケアにおけるテーラーメイド医療を考えるちょっと先の未来に向かって、多様性のあるストーマケアへシフトしていきませんか？		西林 直子		○
ランチョンセミナー4	QOL向上を追求したストーマケアVol.2 地域につなぐことを意識した入院中のストーマケアと装具選択		清水 昌美	事例①	×
			安保 明子	事例②	×
ランチョンセミナー5	在宅での褥瘡・創傷ケアの専門知識の普及に「動画」を活用する		木下 幹雄		○
ランチョンセミナー6	明日につなげるIAD予防ケア あらって、はじいて、まもりましょう！		清藤 友里絵	明日から実践したいIADケアー洗いかた 護りかたー	○
			菊地 克子	おむつ皮膚炎診療スキルアップに役立つ皮膚機能の基礎～バリアと保湿～	○
ランチョンセミナー7	"車いす用クッション"と"床ずれ防止マットレス"の未来への躍進		高野 学	新時代の車いす用クッション	○
			三村 真季	新時代の床ずれ防止マットレス	○
ランチョンセミナー8	保湿ケアのさらなる浸透を目指して		平尾 哲二	保湿の基礎と最新知見	○
			前田 愛	保湿ケアを院内に浸透させる工夫～継続教育への取り組み～	○
ランチョンセミナー9	Wound Hygiene～適切なドレッシング選択講座～		匂坂 正信		×
			渡邊 朋子		×
ランチョンセミナー10	これからは皮膚障害も予防の時代へ ～臨床で活躍するWOCNによるディスカッション～		安藤 共和		○
			櫻井 三希子		○
			土田 学		○
			谷澤 伸次		○
ランチョンセミナー11	ストーマ保有者の排泄管理、生活支援を考える：リスクファクターモデルによるアセスメント		安藤 嘉子		○
ランチョンセミナー12	自動体位変換機能付エアマットレスを究める知恵と技 ～実演を通して～		柳井 幸恵		○
			内山 啓子		○
			澤井 尚子		○
スイーツセミナー1	コロナ禍で見直された陰部ケアの方法～洗浄水を使わない陰部ケア～		加瀬 昌子	ペリケアを試用して分かったこと、全館で使用を始めて分かったこと	○
			小林 智美	陰部ケア方法の深化を考察する～看護師への技術指導を通して～	○
スイーツセミナー2	ケアの質も効率も諦めない スキンケアの新常識！ ～より簡単・より短時間・より継続できる陰部洗浄・おむつのイノベーション～		溝上 祐子	これからのあらゆる場で求められる！効率性を追求したスキンケア	○
			田中 淳一郎	予防発想！肌トラブルリスクを減らす最新のおむつ・ケア用品	○
スイーツセミナー3	「岡部と間宮のここだけの話！」本日開業！おむつ外来		岡部 美保		○